

## 王梨音祭

野田中学校では、毎年10月に文化祭を行います。その名前が「王梨音祭（おりおんさい）」です。10月は、芸術の秋、実りの秋でもあります。多くの学校では、文化祭や学習発表会が開催されます。

生徒の皆さんにとっては、初めての王梨音祭となります。なぜなら、コロナ禍のために、昨年度までは「合唱コンクール」のみを行っていたからです。今年度は、ようやく合唱コンクールだけでなく、生徒会企画や開祭行事、閉祭行事、生徒会引継ぎなどを行うことができるようになりました。それでも、まだコロナ禍前の状態には戻ってはいません。1・2年生は、今年度の王梨音祭の経験を生かして、来年度の王梨音祭の内容を考えてみてください。

さて、明日の王梨音祭において、午前中は合唱コンクールが行われます。この時期には、どの中学校でも合唱コンクールを実施しています。最優秀賞など最高の栄誉（えいよ）に輝いた学級は、11月10日（金）ふくしん夢の音楽堂（福島市音楽堂）で開催される「福島市学校総合文化祭音楽発表会」の場で、学校を代表して、その歌声を披露（ひろう）することになります。

先週あたりからでしょうか。昼休みや放課後には、各教室から歌声が聞こえてくるようになりました。校舎に歌声が響きわたる学校はいいものです。放課後には、学校中に活気が生まれています。

今年度の野田中学校のスローガンは、「声を届けよう」です。皆さんの授業中の声はどうでしょうか。教室中に聞こえる声で発表できる生徒が増えてきました。生徒会活動や学級での声はどうでしょう。午後に行われる生徒会企画は「届け！私の気持ち！」です。生徒会が企画し、各学級の代表者が、全校生の前で自分の声を届けるようになります。今から楽しみです。

そして、声と言えば歌声です。中体連選手激励会での応援歌は、今でも心に残っています。歌声の集大成が、明日の合唱コンクールです。音楽には力があります。合唱には、人を、中学生を、そして学級という集団を成長させる力があります。学級で行う合唱でなければ味わえないものがあります。山あり谷あり、悲喜こもごもの学級ドラマが展開されたとしても、みんなで取り組んだ合唱は、中学時代の大切な思い出となります。

だからこそ、どの中学校でも合唱コンクールを実施しているのではないのでしょうか。合唱の価値や教育的効果を認めてのことです。学校生活にはドラマが必要です。ドラマを通して人は成長していきます。合唱コンクールは、皆さんが主役のドラマです。10月21日（土）体育館で学年ごとに行われる合唱は、どの学級も、どの生徒もが主役となる舞台です。